

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

令和8年5月29日

施設名	港区立神明保育園	施設所管課	芝地区総合支所管理課
所在地	港区浜松町1-6-7プラザ1-3F	指定管理者	株式会社日本保育サービス

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和8年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和8年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>保育環境は定期的に見直し、子どもの成長に合わせた環境構成に努めている。園内研修で主体的な遊び環境についてクラス毎に発信している。1.2歳児は、月齢や発達に応じた援助ができるように2グループに部屋を分け、少人数の安定した環境に配慮している。0歳児は広い空間を身体を動かした遊び、座位での遊び、食事コーナー等に仕切り、全体把握が可能な環境にしている。月齢差を配慮し、好きな遊びができる環境の工夫を望みたい。</p>		<p>定期的な保育環境の見直しに併せて、保育スペースの仕切りを見直したり、パーテーション等を活用し、子どもの視線や動線を緩やかに区切ることで子どもが主体的に活動できる環境を設定していきます。</p>	<p>子どもの月齢や発達に応じて、コーナーを設けるなどして、玩具の種類や配置を変えて対応していきます。</p>	<p>子どもたち一人一人が好きな遊びができる環境は、より良い保育の実施に不可欠と考えます。子どもの視点や発達、月齢などを鑑みた保育が実施できるよう、保育環境のさらなる改良やおもちゃのバリエーションが充実することを期待します。</p>
<p>園の課題として、業務負担の偏りや報告・連絡・相談のルートの不徹底が挙げられる。担当や係ごとの役割分担を見直し、適性を踏まえた業務配分を進めているが、さらなる改善が求められている。社会人としての基本的な仕事の進め方や組織内での報告経路を改めて確認する必要がある。また、職員一人ひとりの経験則に頼るのではなく、園としての共通ルールを明確にし、中間層も含めた意識統一を図ることも必要と思われる。係内での協働や情報共有の徹底を進めることで、全職員が働きやすい職場環境の実現につなげていくことが期待される。</p>		<p>業務負担の偏りや報告・連絡・相談のルートの不徹底については、業務フローを職員全体に周知し、徹底することでスムーズな引き継ぎや職員間の業務の進め方に関する認識を一致させることで改善していきます。</p>	<p>全体リーダーや副園長の育成を推し進め、全体リーダーや副園長が決定権を持てるようにすることで業務の負担の偏りをなくし、全体の安定性を向上させていきます。</p>	<p>業務負担の偏りや報告・連絡・相談のルートを徹底することは、より良い保育園運営を行う上で不可欠と考えます。全体リーダーや副園長の育成により、中間層の意識統一が図られ、職員間の協働や情報共有の徹底につながっていくことを期待します。</p>
<p>園全体の情報共有のため、毎週金曜日の午後13時半から30分間の昼礼が行われ、園長、副園長、調理スタッフ、各クラスからリーダー、サブリーダーなどが週替わりで参加している。内容は子どもの個別状況、食事、ヒヤリハット以外にも多岐にわたり、その報告は非常勤職員も含む全職員に共有されている。しかし、日々の保育中の実践事例や保護者とのエピソード、子どもの成長発達などをリアルに伝え合う時間も別に確保し、全園児への視点について職員間で共通認識を深めていくことも必要と思われる。</p>		<p>自分のクラスだけでなく、園全体で子どもを育てる視点を持てるようクラスでの保育実践の内容やクラスの子どもの成長した姿を園全体で共有する時間を設けていきます。</p>	<p>副園長が学年会議や異年齢会議、クラス会議に入ることによって子どもたちの様子(食事、自由遊びなど)を共有し、その内容を園内掲示やInstagramなどで発信することで職員全体で共有し、共通認識を深めていきます。</p>	<p>職員間で共通認識を深めるためのコミュニケーションにおいて、子どもの成長発達などをリアルに伝え合う工夫としてInstagram等を活用することは、SNSの効果的な活用であり、タイムリーな情報共有手段であると認識しています。園全体で共有される情報の充実が図られることを期待します。</p>